

小学校の地域学習における社会的事象の特色や相互の関連について考える力を高める指導の工夫
—広い視野から考える資料集「ぐんまくん」の作成と活用を通して—

研究構想図

長期研修員 養田 信行

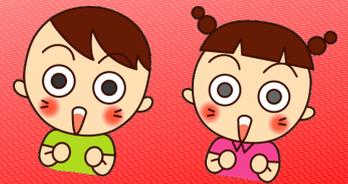
目指す
児童像

社会的事象の特色や相互の関連について考えることができる児童

考え・まとめる

自分たちで調べたことと資料集「ぐんまくん」で考えたことをまとめて意見交換する

広く特色を捉える



追究する

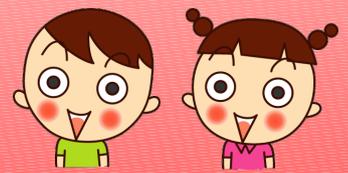
資料集「ぐんまくん」を活用して、自分たちで調べた社会的事象と群馬県全体の様子との関連を考察する

比較・関連付けて考える



見学・質問のポイントを用いて、見学する活動と学習課題をつないで見学や調査をする

学習のねらいを明確に持つ



広い視野から考えられるようにしたいな。

教師



どんな具体的資料を提示すればよいか分からないわ。



ずれ

バスで社会科見学に行き、楽しかったよ。

児童



でも、児童は自分たちの住んでいる地域だけを調べるため、学習のねらいにそって考える視野が狭いことに気付いていない。

社会的事象の特色や相互の関連について考えることができる児童

小学校4年生で授業実践

○ 単元「ふるさとれきしまップ」○

考え・まとめる

自分たちで調べたこと

資料集「ぐんまくん」で考えたこと

二つを
まとめて意見
交換

地域の文化財には、町の発展や人の幸せを願う気持ちが込められているぞ。

地域の文化財は、今の人が守ったり、地域の人が協力したりして、受け継がれているわ。

調べ考えたことを基に特色を捉える



文化財保護の課題や保護に向けた群馬県の取組を地域と照らし合わせてみる

☆群馬県の文化財の課題

国や県、市が保存することにした文化財ですが、なぜ大切なのか地域に住む人々に意外と知られていません。文化財を身近に感じることができず「自分たちのもの」という意識をもちにくいことが課題となっています。郷土芸能などの文化財を保存しようとする人の数も少なくなっており、お年寄りが中心のところも多くなっています。



自分たちの身のまわりにある文化財がなぜ大切なのか考えてみましょう。

資料集「ぐんまくん」で考える

自分たちで調べたことと群馬県全体の様子を関連させて考えてみたぞ。

文化財は保存する人にとって大切で受け継ぎたい物なのね。でも、地域に住む人にとって何が大切か分かりづらい物なんだわ。



追究する

見学・質問のポイントは児童と確認しながら作成

見学・質問のポイント

<見ること>

- ・その文化財は、どんな形や感じがするか。
- ・その祭りや年中行事は、どんな様子か。

<聞くこと>

- ・その文化財は、だれが何のために保存しているか。
- ・その祭りや年中行事が長く続くわけは何か。
- ・込められた人々の願いはどんなものか。
- ・守り、受け継ぐためにどんな取組や努力をしているか。

見学でどんなことを見たり聞いたりすればいいか分かったぞ。

どんな学習をしていくのか分かったわ。学習のゴールがはっきりしたわ。

見学・質問のポイントを作成し、自分たちで調べる



成果と 課題

資料集「ぐんまくん」を活用して地域の社会的事象を比較・関連付けて考えることは、社会的事象の特色や相互の関連を多面的・多角的に考えるのに役立ちました。自分たちが調べた社会的事象と群馬県全体の様子との関連を考察し、特色として見いだす活動をどのように指導計画に位置付けるか考える必要があります。

提言

地域の社会的事象を考えるために、群馬県全体の様子を考察する活動を授業に加えていきましょう。